

令和6年1月18日

令和5年度文化庁委託事業「漫画家ちばてつや氏のマンガ原画等を対象とした調査研究」について

マンガ、アニメ、ゲーム等のメディア芸術は、広く国民に親しまれているだけでなく、新たな芸術の創造など我が国の芸術創造活動全体の活性化を促すとともに、海外からも高く評価され、わが国への理解や関心を高めています。

文化庁では、これまでもメディア芸術の振興に向けて、クリエイター等の育成支援、メディア芸術作品・関連資料の収集・保存・活用に向けた分野を横断したネットワークの構築やノウハウの共有の推進、全国の所蔵館等におけるアーカイブの取組への支援等の施策を実施してまいりました。

近年、マンガやアニメ、ゲーム等の中間生成物等（原画やネーム等）の散逸や劣化の危険性が急速に高まり、その対応は喫緊の課題となっています。文化庁では、そうした課題への対応として、我が国を代表するマンガ家のちばてつや氏の協力の下、中間生成物等を対象に、整理・デジタル化のパターン検証等の工程・手法等に係る調査研究を行い、適正な保管や利活用に向けた検証を行います。

本調査研究は、独立行政法人国立美術館等の助言・協力等を得て実施することとしており、得られた成果や課題については、今後、国立美術館におけるマンガ原画等の調査研究や展示等にも活かしていくこととしています。

【別紙】「漫画家ちばてつや氏のマンガ原画等を対象とした調査研究」の概要

※別紙内容については今後変更等が生じる場合があります。

文化庁参事官（芸術文化担当）

参事官 圓 入 由 美

参事官補佐 吉 井 淳

主 任 毛 利 哲 哉

【代表】03-5253-4111（内5054）

令和5年度文化庁委託事業「漫画家ちばてつや氏のマンガ
原画等を対象とした調査研究」の概要

1. 趣旨

メディア芸術作品の中間生成物等（原画、ネーム等）の資料の散逸や劣化の危機が急速に高まり、その対応は喫緊の課題となっている。本調査研究ではそうした課題への対応として、それらの整理・デジタル化のパターン検証等の工程・手法に係る調査研究を行い、適切な保管や利活用に向けた検証を行う。

2. 事業名

メディア芸術作品の中間生成物等の活用促進に係る調査研究事業

3. 主な内容

① マンガ原画等の資料の整理等に係る工程・手法の調査研究

ちばてつや氏が保有するマンガ原画、ネーム等の内容把握、目録等のメタデータ作成、適切な保管状態への改善等の取組を実施し、各種検証を行う。

② 中間生成物等のデジタル化に係る諸条件のパターンの調査研究

中間生成物等の将来的な利活用を想定し、①で対象となる資料の一部（数十点程度）を対象とし、撮影手法、解像度といった諸条件を変えた複数のデジタル化のパターン検証等の取組を実施する。

③ 中間生成物等の利活用に係る諸条件の整理

今後の利活用に向けて、①で対象とする資料についての権利状況、公開に係る諸条件等を整理。

④ その他必要な検証等。

4. 実施期間

令和6年1月～令和6年3月

5. その他

本調査研究の結果は、令和6年度内に公表を予定。

(参考)

【ちばてつや氏略歴】

1939年(昭和14年)東京都生まれ。1956年(昭和31年)貸本マンガでデビュー。以来、数多くの少年・少女マンガのヒット作を生み出し、とりわけスポーツマンガへの貢献で知られる。中でも1968年(昭和43年)に「週刊少年マガジン」で連載開始した『あしたのジョー』(原作・高森朝雄)で後進に多大なる影響を与える。代表作に『ちかいの魔球』、『紫電改のタカ』、『ハリスの旋風』、『あしたのジョー』、『おれは鉄兵』、『あした天気になあれ』、『のたり松太郎』など。日本漫画家協会会長、元文星芸術大学学長。2001年 日本漫画家協会賞文部科学大臣賞、2002年 紫綬褒章、2012年 旭日小綬章、2014年 文化功労者、2022年 日本芸術院会員。



【本事業において対象とするちばてつや氏のマンガ原画等の中間生成物の例】

